



元 平成20年度入園式・入学式 気いっぱい胸はずませて

町内の幼稚園、保育園、小・中学校で保護者らが見守る中、一齐に入園（学）式が行われ、新しい学校生活の第一歩を踏み出しました。しらかば保育園の入園式では4名の園児が入園。菊野久子園長は「保育園は楽しい行事がたくさんあります。あいさつができる元気な子どもになってください」とお祝いの言葉を述べました。また、浦幌中学校の高橋康伸校長は式辞で「夢と希望をもち一人一人が輝いて欲しい」と金子みすずさんの「私と小鳥と鈴と」の詩を新入生に贈りました。

右上:少し緊張ぎみに元気よく入場(浦幌小学校)
左上:一人ずつ名前を呼ばれ「ハイ」と起立(浦幌中学校)
左下:みんなでお祝いの歌を歌いました(しらかば保育園)

浦幌ライオンズクラブ ランドセルカバーを贈呈

3月27日、浦幌ライオンズクラブ(八木忠宏会長)が、新一年生になる子どもたち(全町で45名)にランドセルカバーを贈りました。八木会長は「子どもたちの交通安全を願って毎年贈っている。事故に遭わないように祈っている」と話しました。大谷教育長は「皆さんのお気持ちを添えて、繰り返し安全指導を行い、事故防止に努めたい。」と感謝とお礼を述べました。



ランドセルカバーを大谷教育長へ手渡す八木会長。(写真中央)

浦幌神社のご好意で安全祈願され大谷教育長に渡されました。



カエルちゃんマスコット完成 地域で子どもたちを見守る

4月1日、女性団体連絡協議会(北村敦子会長)が「学校にも家にも無事に帰る」と願いを込め3ヶ月間かけ作成したカエルちゃんマスコットがこのほど完成、新一年生に渡して欲しいと教育長室を訪れました。北村会長は子どもたちを見守る第一歩として今後も継続していきたいと話し、また「『若返る』の意味を込め自分たちの分も作った」ともう一つのエピソードも笑顔で明かしてくれました。

手 心友愛会から園児へ贈呈 づくりマスコットで安全祈願

3月14日、心友愛会(代表:富田さた子さん、星愛子さん)が浦幌幼稚園の新入园児に交通安全を祈願した手づくりのマスコットを贈りました。布を丸く縫い縮めたパーツを組み合わせて作る「ヨーヨーキルト」で65個ほど作成。すべて会員(世話役4名、70歳以上のお年寄り11名)の手づくり。田中園長は「贈られたマスコットは入园式で披露し、新入园児のほか在園児に渡す」と感謝とお礼を述べました。



田中園長へマスコットを贈る心友愛会メンバー

表彰状を受け取る齋藤副団長(写真中央)



永 平成19年度消防庁長官表彰 年勤続功労章を受章

3月19日、平成19年度消防庁長官表彰の伝達式が町長室で行われ、齋藤直道副団長が永年勤続功労章を受章しました。昭和42年の入団以来、41年間に渡り現場活動や技術訓練、後継者の育成指導を積極的に行った功績が認められました。「家族や仲間との協力と先輩の指導のもと真面目に活動してきた。全国的に消防団員が不足しており後進の指導に力を入れていきたい」と話しました。

伝達された感謝状を手にした生徒会役員。



交 浦幌高等学校、交通安全街頭キャンペーン 交通安全活動で道から表彰

浦幌高校が(社)北海道交通安全推進委員会から表彰され3月17日、水澤町長より感謝状が伝達されました。昭和57年に生徒が交通事故の犠牲となり二度とこのような事故が町内で起きないようにとの思いから交通安全街頭キャンペーンを始めて以来25年間、生徒会与教職員が一丸となり交通安全活動を続けてきました。今回伝達された平成19年度一般表彰は、全道で59名、13団体。団体としては、十勝で唯一、同校に感謝状が授与されました。

ドーナツ作りを体験 光南子どもを守る会

3月23日、光南子どもを守る会(桜澤敬貴会長)が光南地区に住んでいる小・中学生の子どもたちとドーナツ作りを体験しました。同区在住の坂下禮子さんが指導者となり、小麦粉2キロを使い、生地をこね、形を作り、80個のドーナツを作りました。イースト菌が発酵するまで20分ほど待ってからお母さんたちに油で揚げてもらい、砂糖やシナモンをまぶし、おいしそうに仕上がりました。



参加した30名ほどの子どもたち。生地をねじって形作り。